

学びの創造

平成21年度学部附属学校園共同教育研究会 が開催されました！

2月17日水曜日に、附属小学校の“はとのこホール”において、教育実践総合センター公開研究会と兼ねて、開催されました。前半は、秋田県教育庁中央教育事務所指導主事の山本新平先生を講師としてお招きし、現在進められている小学校や中学校における「特別支援教育の現状と課題」についての講演と、質疑を行いました。発達障害を有する子どもの割合が6%強であるという調査結果もあり、それほど顕著でない場合にはその程度を見極める難しさが、これからは教員が子どもの特性を見立てて支援をすることが重要であることを知らされました。また、私たちがさえ、話を聞きながらノートをとるといった複合的な作業をしているときには注意と認知が不十分になるというシングル・フォーカスの実習を通して発達のアンバランスについても体験できました。後半は、「教科教育等教員連絡会議」の分科会を行い、これまで以上の附属学校園と大学との連携をはじめとした諸課題について、検討しました。多くの分科会には複数の大学教員が加わることができ、本年度の反省と来年度へ向けた話し合いができました。参加者はおよそ100名で、学部からは20名を超える先生の参加がありました。

第76回国立大学教育実践研究関連センター協議会に参加してきました

2月19日に東京学芸大学で開催されました全国センター協議会に、専任教員が参加してきました。省令で設置された“教育実践総合センター”から、各大学の状況に応じたセンターに改組しているところが出てきています。当センターも、生涯にわたる教師としての成長発達を視野に入れ、地域にも貢献していくという「学びの総合エリア」を核にした改組も特徴的なものの一つになりそうです。

4月より、教育実践研究支援センターになります

新年度から下記のように2部門から3部門になり、センター長以下、専任教員5名、特任及び客員教員3名、技術系職員及び事務系補佐員2名の11名となります。学部教職員よりなる研究員の制度も活性化し、“学びの総合エリア”の充実に努めて行きたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

